

南魚沼市 学力向上に向けた取組（教職員版）

「読む力」の育成に向けて ～願い～

南魚沼市では、「子どもたちに正しく読んで、正しく理解できるようになってほしい」という願いから、『子どもたちの「読む力」を高めれば、問題や課題への理解が深まり、学習意欲や学力の向上につながるのではないか』という仮説の下、令和5年度より「読む力」の育成に向けた取組が始まります。具体的には、六日町中学校区の3つの小中学校を取組の推進役として実証研究校に指定し、取組についての情報発信と取組の有効性と仮説の検証を行います。市内の他の学校でも「読む力」の育成に向けた取組の推進をお願いします。

南魚沼市の「読む力」のとらえ ～考え～

南魚沼市では、「読む力」を「正しく読む力」と「深く読む力」の2つの力ととらえ育成を図ります。

<南魚沼市でのとらえ>

南魚沼市では「読む力」を、文章や表現、図表、数値が示すとおり「正しく読む力」と、そこから文章や表現全体の意味、図表やグラフ、数値の規則性や法則を見出す「深く読む力」の2つの力ととらえる。この2つの力は相互に作用し、高まっていく。

子どもたちに、1つ1つの文章や数式、値等を正しく読む力をつける。それを基に、文章や数式、値等の順序や関係を踏まえ、全体としてどういう意味なのか、何を求めているのかを深く読む力をつける。

「読む力」を測定するため、実証研究校と希望する学校で、子どもたちはRST（リーディングスキルテスト）を受検します。RSTの数値は、子どもたちの実態把握と授業改善への手がかりとして活用します。

先生方の具体的な取組 ～想い～

各校の教育目標を大切にしながら、学習指導要領で示された内容について、日々、子どもたちにご指導いただき、ありがとうございます。その中で、「授業のこの場面で、こんな『読む力』を育成する取組ができる」というとき、目の前の子どもたちの実態に合わせ、「読む力」の育成に向けた取組の実践をお願いします。例えば、「これまで、あまり声に出して教科書を読んでこなかった」という現状があれば、ぜひ教科書を声に出して読んでみる、また、文章の内容を読み取る場面であれば、「5W1H」に着目して読ませる、といった取組を実践してください。子どもたちは、どんな反応を示すでしょうか。目の前の子どもたちの姿を見ながら取組を洗練し、先生方自身がそれぞれの取組を完成すべく、実践を重ねてください。そして先生方の取組を、ぜひ他の先生方に発信してください。

先生方が積み重ねた取組は必ず子どもたちを成長させ、仲間と共有した情報はかけがえのない財産となります。実践を重ねることで、「子どもたちは、読めるようになったなあ」と実感してください。その実感が得られれば、必ず子どもたちの学力は向上すると確信しております。

南魚沼市の先生方はもちろん、子どもたちにかかわる全ての人が「読む力」の育成という1つの目標に向かって一丸となり、共に子どもたちを育てましょう。



令和5年4月

南魚沼市教育委員会・南魚沼市学習指導センター